

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
東京リゾートアンドスポーツ専門学校	平成9年11月27日	五石 秀治	〒113-0033 東京都文京区本郷4丁目12-6 (電話) 03-5615-9210
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	昼間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、学校教育法に基づきスポーツインストラクター等として、健康スポーツ及びリゾートビジネスに従事しようとする者に必要な知識、技能を教授し、明日の健康産業、リゾート産業及びレジャー産業を担う人材を養成することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
スポーツインストラクター科	2年	80人	160人
アスレティックトレーナー科	3年	40人	120人
スポーツトレーナー科	2年	200人	400人
スポーツ保育科	3年	40人	120人
スポーツビジネス科	2年	40人	80人

<カリキュラム（科目配当表）について>

カリキュラム（科目配当表）
https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/course_tokyo.pdf

<シラバスについて>

学科	学年	シラバス
スポーツインストラクター科	1年	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/kenkou_01_tokyo.pdf
健康スポーツ科	2年	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/kenkou_02_tokyo.pdf
アスレティックトレーナー科	1年	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/athletics_01_tokyo.pdf
	2年	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/athletics_02_tokyo.pdf
	3年	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/athletics_03_tokyo.pdf
スポーツトレーナー科	1年	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/trainer_01_tokyo.pdf
	2年	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/trainer_02_tokyo.pdf
スポーツ保育科	1年	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/hoiku_01_tokyo.pdf
	2年	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/hoiku_02_tokyo.pdf
	3年	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/hoiku_03_tokyo.pdf
スポーツビジネス科	1年	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/business_01_tokyo.pdf

※スポーツインストラクター科：2020年度より健康スポーツ科から名称変更

※シラバスは年度当初予定のものであり、災害等により一部内容に変更が生じる場合があります。

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	
スポーツインストラクター科	インストラクターとして、主にグループレッスンに必要な知識・技術を身につけ、人々を惹きつける魅力あるレッスンを展開し、健康づくりのためのプログラム提供と運動指導ができる。
アスレティックトレーナー科	アスレティックトレーニング学の知識を有し、アスレティックトレーナーとしてスポーツ・医療・健康・教育現場、すべての分野でプロフェッショナルに活躍できる。
スポーツトレーナー科	トレーナーとして、主に個に対応するレジスタンストレーニングやコンディショニング、及び機能改善に必要な知識・技術を身につけ、それらのスキルを活かして、幅広い層・目的に応じたトレーニングプログラムの作成、指導ができる。
スポーツ保育科	幼稚園や保育園、幼児体育施設などの先生として、こどもの発育発達を理解し、運動遊びや体操指導を通して、こどもの個性・成長を総合的にサポートすることができる。
スポーツビジネス科	あらゆるスポーツの特性や、スポーツ業界に関わる幅広い知識を有し、社会や消費者が求める商品の開発や提案ができる。また、スポーツを通じて健康や感動を提供するためのイベントの企画や運営ができる。

<取得可能な資格について>

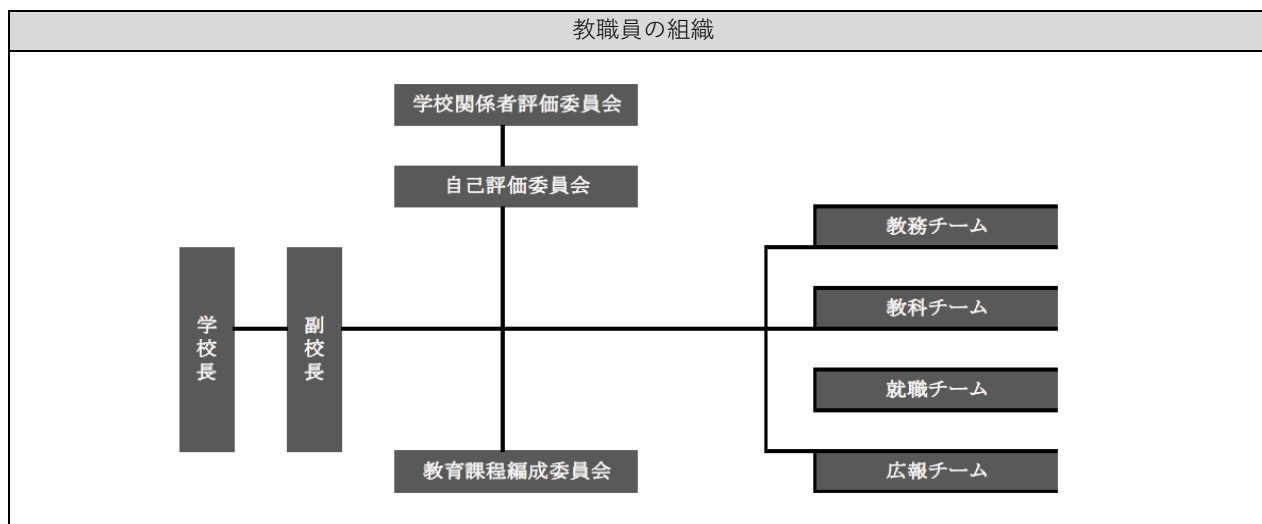
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/jobdata/skill_introduction.html
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/jobdata/jobdata.html
------	---

③教職員

専任教員	23
兼任教員	37
事務職員	6



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
佐久間 舞	アスレティックトレーニング	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー 中学校・高校のサッカーチームに通算6年間、アスレティックトレーナーとして活動
平 治郎	コンディショニング	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー 神奈川県内高等学校サッカー部 トレーナー
横井 美紀	テニス指導実践	日本体育協会公認テニス教師 スポーツメーカー勤務
小山 尚将	リテールマーケティング	中学校教諭一種免許状（保健体育）、高等学校教諭一種免許状（保健体育） スポーツショップにて接客、販売、売場管理 4年間
井出 英輔	キッズレクリエーション	保育士資格 東京都内保育園勤務

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/jobdata/support.html
実習実技への取組	<p>カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。</p> <p><学外実習 全学科>※実習期間・時期等は学科によって異なる 各専門業務についての理解を深め、基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。 関連業界の企業・団体と学校との相互理解から、事前に学習計画を共有し、実習での課題解決に向けて、体系的な活動・取り組みをしていき、その事後の評価・フィードバックを積極的に行っていくことで、教育成果の質・量ともに高めていく。 担当教員による実習期間中の訪問も実施し、適宜課題発見等のケアを行っていく。</p>

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/schoolguide/year.html
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応	
教科担当と学科担当が連携を図り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、常に情報共有を行っている。年に2～3回程度、個人面談を行い、生徒の状況を把握するようにしている。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。 また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。	

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/guidelines/pdf/r_1.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---

⑨学校評価

自己評価・学校関係者評価結果	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/kankeisyahyouka_tokyo.pdf
----------------	---

⑩高等教育の修学支援新制度 申請様式

2019年度	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/yoshiki.pdf
--------	---